

(別紙)

SDGs 未来都市東広島推進パートナー宣言書

企業・団体名 近畿大学附属広島高等学校

・中学校東広島校

代表者名 橋本 晃一

東広島市における活動等を通じて、次のとおりSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（番号に○を付けてください。複数選択可）

1		1 貧困をなくそう	2		2 飢餓をゼロに
3		3 すべての人に健康と福祉を	④		④ 質の高い教育をみんなに
5		5 ジェンダー平等を実現しよう	6		6 安全な水とトイレを世界中に
7		7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8		8 働きがいも経済成長も
9		9 産業と技術革新の基盤を つくろう	⑩		⑩ 人や国の不平等をなくそう
11		11 住み続けられるまちづくりを	⑫		⑫ つくる責任 つかう責任
13		13 気候変動に具体的な対策を	14		14 海の豊かさを守ろう
15		15 陸の豊かさも守ろう	⑯		⑯ 平和と公正をすべての人に
⑰		⑰ パートナーシップで目標を 達成しよう			

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

本校では、学校全体の教育活動をSDGs 17の目標達成につなげていくことを目指しており、現時点では、特に4「質の高い教育」、10「人や国の不平等をなくそう」、12「つくる責任 つかう責任」、16「平和と公正をすべての人に」、17「パートナーシップで目標を達成しよう」の5つのゴールを中心に取り組んでいます。

4のゴールについては、日常的な教育活動に加えて、近畿大学の附属校としての組織的環境を活かした、中・高・大の連携教育を推進しています。

10・12のゴールについては、道徳や総合など学級単位での活動や生徒会活動に加えて、昨年度より本格的に活動をスタートした「探Qの会」（有志を募って様々な課題に取り組む集まり）の活動で取り組んでいます。例えば、中学1年生全体で取り組む稲作実習や「探Qの会」メンバー中心で参加している「和綿の種ひろがるプロジェクト“HOME GROWN”」での和綿栽培などを通して、エシカル消費や環境問題について具体

的・体験的に学んでいます。

また、16・17のゴールに関しては、平和学習を中3学年の総合学習のテーマに掲げ、PCV(Peace Culture Village)と連携した修学旅行での知覧訪問や「平和文化祭(平和学習の成果発表)」の実施、また、札幌の中学校と連携した、東広島&札幌による新たな『平和文化』の創造・発信を目指した活動など、新しい教育活動を導入しているところです。

※ 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、どのような活動を実施するか、また、その活動が1で選択したゴールの達成にどう貢献するかなどについて記載してください。